

## 第 139 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：平成 17 年 11 月 12 日（土） 13:00 -18:30

場所：筑波大学東京キャンパス G205

出席者：鬼沢，谷，萩原，菊池，櫻井，高木，高間（記），三河

欠席者：林，長谷川，鷲尾

議事(資料 139-0)

### 1. 前回議事録の確認（資料 139-1）

### 2. 学会全体に関する事項

#### 2.1. 横幹連合関連

- ・学会キャッチフレーズを「知とあいまいさに学ぶしなやかなシステム」とすることが了承され（資料 139-2），鬼沢会長より横幹連合へ提出した旨報告があった．
- ・横幹連合の NPO 法人化について鬼沢会長より報告があった．
- ・櫻井理事より横幹連合技術フォーラムへの参加報告があった．

#### 2.2. 評議会関連

- ・萩原副会長より報告があり，評議会での意見を整理，検討することとなった．
- ・櫻井理事より FSS2004/2005 の発表者の分析結果について報告があった(資料 139-3)．

#### 2.3. フェロー，実施賞について

- ・萩原副会長より説明があり，フェローの該当者はいないこと，実施賞については継続して審議することとなった．

#### 2.4. 入会案内について

- ・高間理事より説明があり（資料 139-4），解説，論文の代表著者が非会員の場合に入会案内（資料 139-5）を別刷代請求書と共に（購入のない場合は事務局から直接）送付することが了承された．また，学会 HP の入会案内の文面も同様の内容に修正することが了承された．

#### 2.5. 日本学術会議協力学術研究団体申込みについて

- ・鬼沢会長より説明があり（資料 139-6），日本学術会議の新体制発足に伴い，申込書を新規に提出した旨報告があった．

#### 2.6. IFSA への SOFT の現状報告について

- ・鬼沢会長より報告があった（資料 139-7）．

#### 2.7. 法人会員に向けた企画について

- ・谷副会長より報告があり，谷副会長を主査とする WG を設置して継続して検討することとなった．

#### 2.8. NPO 法人化について

- ・菊池理事より報告があり，菊池理事を主査とする WG を設置して継続して検討することとなった．

#### 2.9. SOFT ホームページについて

- ・三河理事より報告があり（資料 139-17），HP に掲載する学会キャッチフレーズについては「知とあいまいさをソフトに考える学会」とすることが了承された．

#### 2.10. 指定学術団体の活動状況調査（特許庁）について

- ・高間理事より説明があり 特許庁へ提出する「指定学術団体活動状況報告（資料 139-8）の記載内容について確認した．

### 3. 事業に関連する事項

#### 3.1. ファジィ学問塾報告

- ・高間理事より盛況であった旨報告があった。また、参加学生（非会員）に入会案内を送る件について、林理事に対応を依頼することとなった。

### 3.2. 産業技術交流会関連

- ・高間理事より開催案内を会誌 12 月号に折込で入れることなどの報告があった（資料 138-9）。

### 3.3. FSS 関連

- ・櫻井理事より FSS2005 の決算について黒字となる旨報告があった（資料 139-10）。
- ・高間理事より FSS2006 の開催案内を会誌へ掲載する旨報告があった（資料 139-4）。
- ・高間理事より、中国・四国支部（FSS2009）、関東支部（FSS2010）より了承を得ている旨報告があった（資料 139-4）。

### 3.4. SCIS, ISIS 関連

- ・鬼沢会長より、ISIS2005 の参加状況について報告があった（資料 139-11）。
- ・高間理事より、SCIS2006 ではプロシーディングの Springer LNAI での発刊はしないこと、投稿システムは J-stage に決定したことなどが報告された（資料 139-4, 139-12）。

### 3.5. MDAI2006 の協賛依頼について

- ・高間理事より報告があり、承認することが了承された（資料 139-4）。

### 3.6. ペンチャー研究会審査の件

- ・高間理事より説明があり（資料 139-13）、申請書の内容について検討した。

## 4. 予算に関連する事項

### 4.1. 月次会計報告

- ・櫻井理事より説明があり、会費収入が例年より減少していること、別刷り収入は増加していることなどが報告された（資料 139-14）。

### 4.2. 支部・研究部会などの予算削減について

- ・櫻井理事より報告があり、予算削減に応じた研究部会へは状況報告をすることとなった。

- ・鬼沢会長より九州支部からの問い合わせについて報告があり（資料 139-15）、FSS などにおけるペイバックについては予算削減の対象とはしないことが了承された。

### 4.3. 学会誌部数変更について

- ・櫻井理事より、12 月号分より学会誌部数の余剰分を 100 部から 50 部に削減することが報告され、了承された。

### 4.4. 旅費の源泉徴収について

- ・櫻井理事より、旅費については源泉徴収の対象とはしない旨報告があり、了承された。

### 4.5. MDAI2005 からの寄付について、今後の寄付受付手順

- ・櫻井理事より MDAI2005 から寄付があった旨報告があった。また、今後の寄付の受付手順について説明があり、了承された（資料 139-16）。

### 4.6. 学会事務局委託費について

- ・今年度については見直しをせず、来年度以降検討することとなった。

## 5. 会誌に関連する事項

### 5.1. 研究会での発表論文等の JST への著者抄録登録について

- ・これまでに各支部で対応していた分についてはそのままとし、今後の扱いについて事業委員会で検討中である旨報告があった（資料 139-4）。

### 5.2. 電子図書館サービス著作権使用料（国立情報学研究所）について

- ・萩原副会長より説明があり、非会員については期限付きで有料とすることが了承された。

### 5.3. JACIII の SOFT 英文誌としてのオフィシャル化について

・鬼沢会長より説明があり，SOFT 以外の学協会（IFSA 含む）とも関わっているため，オフィシャル化は難しいとの判断があり，見送ることとなった．

### 5.4. 英文ジャーナルについて

・鬼沢会長より説明があり，編集委員会で引き続き検討することとなった．

### 5.5. 会誌の電子化について

・高間理事より高間理事を主査とする WG を立ち上げた旨報告があり，引き続き検討していくこととなった（資料 139-4）．

### 6. その他

・櫻井理事より，9 月末時点の会員数などについて報告があった．

・鬼沢会長より，11/25,26 の横幹カンファレンスについて説明があった．